

「海外における水再生・循環利用－最新事情－」

1 開催趣旨

地球温暖化の影響かと思われる想像を超える豪雨やゲリラ雨によってわが国やタイ等で大水害が発生しています。一方で、産業の発展や旱魃等の発生で水の不足している地域も多く、新聞等のマスコミに水ビジネスに関する記事が大きく取上げられています。水ビジネスの場としては、経済発展の著しいアジアや南米、水不足が懸念される中東地域やオーストラリアなどですが、そこに適用される技術は日本や欧米で発展した技術だけでなく、シンガポールや韓国等で開発・改良された技術も多く、その存在感も増しています。

わが国でも省エネ技術、温室効果ガス発生抑制技術等のいわゆるエコ技術開発が進展し、地域や流域の水再生・循環利用が着実に進められていますが、海外での存在感は大きくないのが現状です。

欧米等ではどのような観点で水再生・循環利用がなされているか、EU における膜処理技術標準化の進展状況、さらに、わが国の技術が諸外国にどのように適用されているかを事例的に紹介し、海外の水ビジネスでわが国の技術が存在感を増すためにはどうすればよいか意見交換を行う予定です。

2 開催日時 平成 24 年 2 月 3 日(金)午後 2 時より 5 時

3 開催場所 (財)下水道新技術推進機構 8F 会議室

4 プログラム

14:00-14:10 開会 主催者挨拶

14:10-14:50 膜技術を巡る海外の状況と JS の国際展開

日本下水道事業団 理事 村上孝雄氏

14:50-15:30 カリフォルニア州南部沿岸地域 3 郡での下水処理水の再利用

21 世紀水倶楽部 内田信一郎氏

15:30-16:10 NEDO の海外水再生支援

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 主査 斎野秀幸氏

16:10-16:20 休憩

16:20-17:00 総合討議

17:00 閉会 続いて懇談会

5 参加者及び参加費

研究集会参加費 会員、大学、公共団体等：無料

民間企業等：2 千円

懇談会参加費 1 千円

6 申込方法・期限

21 世紀水倶楽部 HP(<http://www.21water.jp/>)にアクセスいただき、その申込欄からお願いします。

申込期限は 1 月 20 日(金)です。

ただし、定員 50 名に達し次第締め切らせていただきます。